

令和元年度第1回地域家庭教育推進県中ブロック会議

□ 日 時

令和元年6月14日(金) 13:30~16:30

□ 会 場

郡山合同庁舎第1会議室

福島県教育委員会では、「本県の家庭教育推進上の大きな課題である『親の学び』を支援する」ことを目的として、平成26年度より「地域でつながる家庭教育応援事業」を実施しております。

事業計画の一つ目に「家庭教育応援プロジェクト」を位置付け、「福島県地域家庭教育推進協議会(年2回)」「地域家庭教育推進ブロック会議(各地区年2回)」「親子の学び応援講座」「家庭教育応援企業推進活動」を実施していきます。

二つ目として「家庭教育応援リーダー育成事業」を位置付け、「家庭教育支援者全県研修」「家庭教育支援者地区別研修」により全県、及び各域内の家庭教育支援者の実践力向上を図っています。

県中教育事務所では、域内の家庭教育の現状を把握し、課題を整理した上で各地区PTA連合会、地域代表、企業代表等との連携により、各家庭における実践へとつなげるため、「地域家庭教育推進県中ブロック会議」を年2回開催しております。PTA連合代表、学校支援者、地域の子どもたちに関わっている諸団体代表、家庭教育支援者、企業の代表者等「推進委員」による協議を通して、学校・家庭・地域が連携し、家庭教育の推進、子どもたちの生活習慣の改善、課題解決に向けての実践的な活動がなされるよう取り組んでいます。

今年度の1回目となる本会議では、県地域家庭教育推進協議会でも話題となり、今日、家庭教育推進状の大きな懸案事項である「SNS問題」を受け、郡山警察署生活安全課少年係より、推進委員の一人でもある少年補導員 堀内 千明 氏を講師に迎え、講話「地域の青少年犯罪におけるSNS関連事案について」をお話しいただきました。後半は、「地域や学校、関係機関における家庭教育上の現状と課題」というテーマで協議を行い、県中域内の家庭教育の現状と抱えている課題について活発な意見交換を行いました。



【出席者】

- 県中ブロック会議 アドバイザー(学識経験者)
- 県中家庭教育インストラクターの会 会長
- 須賀川市家庭教育インストラクター
- NPO法人かがみいしスポーツクラブ 理事長
- 郡山青年会議所理事 青少年育成委員長
- 郡山警察署生活安全課少年係 少年補導員
- 県中児童相談所相談判定課 副主任児童福祉司
- 田村市保健福祉部こども未来課子育て応援係 主査
- 郡山市私立幼稚園・認定こども園PTA連合会 会長
- 郡山市PTA連合会 副会長(郡山市立薫小学校PTA顧問)
- 石川郡連合PTA 会長(玉川村立須釜中学校PTA会長)
- 田村地方PTA連合会 会長(三春町立三春中学校PTA会長)



□ 日 程

時 間	内 容
13:30～	開 会 行 事 ○ 主催者あいさつ ○ 所員自己紹介 ○ 日程説明
13:45～	経 緯 説 明 等 ○ これまでの経緯説明と今年度の取組について
14:05～	講 話 ○ 「地域の青少年犯罪におけるSNS関連事案について」 郡山警察署生活安全課少年係 少年警察補導員 堀内 千明 氏
14:45～	休 憩
14:50～	協 議 ○ 「地域や学校、各関係機関における家庭教育上の現状と課題」 ・ 地域や学校等の現状 ・ 地域や学校等の課題 ・ 日頃から感じたり、考えたりしていること
16:15～	提 案 ○ 「家庭教育応援プロジェクト（県中版）」について
16:20	閉 会 行 事 ○ 御礼・諸連絡

講話 「地域の青少年犯罪におけるSNS関連事案について」

郡山警察署生活安全課少年係 少年警察補導員 堀内 千明 氏

- 県内のサイバー犯罪の現状
平成30年度で209件検挙（109件増）検挙者69人（6人減）であった。
児童が被害にあっているのは51件。うち、青少年健全育成条例違反が41件で、残りは児童ポルノ法違反である。きっかけはSNSが大半で、LINEによるものが最も多い。次がTwitterで、自撮りの被害が後を絶たない。動画系SNSによる被害が増加傾向にある。
- SNS被害の現状
中高生が全体の8～9割である。出会い系サイト関連は減少し、SNSによる被害が増加している。
- 被害事案例
加害者と直接会って被害に遭うケース、リベンジポルノ、不正アクセスによるなりすまし、ストーカー行為、脅迫など、大人の犯罪と同様の手口である。
- SNS、インターネット利用時の注意事項
 - ・ アップする前に「ちょっと深呼吸」、立ち止まって考え直す。
 - ・ スマホの約束6箇条「あ と が こ わ い」



㊦…あわない（知らない人と）

㊧…とらない（自分の裸を撮らない）

㊨…がぞう（画像）を送らないで

㊩…こじん（個人）情報を書かないで

㊪…わるい（悪い）ことを書き込まないで

㊫…いじめないで

- ・ 誹謗中傷は犯罪行為であること、デジタルツールの特徴（拡散してしまうこと、一度拡散した情報は完全に消すことはほぼ不可能である）を理解させたい。学校や警察による指導も大切だが、一番は各家庭での指導、約束などである。
- 【質疑】被害を受ける子どもや家庭について何か傾向はあるか
 - ・ 特にない。普通の子、普通の家庭もある。誰もが被害者にも加害者にもなり得る。

協議 「地域や学校、各関係機関における家庭教育上の現状と課題」

議長 県中ブロック会議アドバイザー 滝田 良子 氏

1 以下の点について自己紹介を交えて発表した。

- 地域や学校、各機関等における家庭教育の現状と課題
- 日頃から感じたり、考えたりしていること

<発表内容>

- ・ 自己中心的な親が多くなってきた。
- ・ 各家庭に応じた取組をしたいが、必要な人ほど来ない傾向がある。
- ・ 子どもに関心の少ない親が増えている。学校がSNS問題など、直接関係のないことから発生したトラブルで解決に時間をさかれている。
- ・ 非行の低年齢化、規範意識の低い家庭が増えている。
- ・ 直接児相に相談できず、学校経由で相談が来るケースが増えた。相談できる相手がいない家庭が多くなったのではないか。
- ・ 今までは普通に家庭と家庭の間を行き来して子ども同士遊んでいたが、児童クラブに来ている子どもたちの中には、クラブの中でしか友達と遊べない子どももいる。
- ・ 親も子どもと一緒に成長していると感じる。親をフォローアップしていく機会が大切である。
- ・ トイレの訓練、離乳食ですら誰かがやってくれる…と人ごとにとらえている親が増えてきている。当事者意識が見られない家庭もある。
- ・ 郡山市5ブロックでPTA研修会の内容をSNS関連に絞り込んで行うことにした。
- ・ PTA活動への参加が二極化傾向にある（やる人、やらない人）。学校・教師との懇親会等の機会がなくなってきた。
- ・ 授業参観に来て、子どもやその友だちの様子に関心をもたず、廊下で会話ばかりの保護者もいる。



2 出てきたことから協議テーマを絞り込み、小グループ（4，5人）で協議を行った。

<協議記録>

◎ Aグループ：学識経験者、家庭教育支援者、家庭教育インストラクター、スポーツクラブ理事長

[現状・課題]

- ・ 自己中心的な親（祖父母も含めて）がよく見られるようになってきた。
- ・ 規範意識の低下を感じる。運動会の写真撮影の様子などが顕著な例である。
- ・ 意識を高めてもらえるよう、PTA行事の趣旨を説明したり、知り合いの人に声を掛けてもらったりして参加を促している。
- ・ 子どもすることに介入しすぎな親がいる。大人になりきれていない親の存在も課題である。
- ・ これらのことは、人間関係の希薄さから生まれているように感じる。



◎ Bグループ：青年会議所、少年警察補導員、児童相談所、保健福祉部

[現状・課題]

- ・ 経済的支援について説明しても面倒くさがる家庭が少なくない。行政との接点さえ嫌う家庭もあり、経済面、子どもの安全面からも何とかしたい課題である。
- ・ 児童の一時保護をきっかけに母親が離婚に踏み切るなど、解決に向けて前進が見られる事案もある。
- ・ 子育てに悩む保護者への支援によって、非行から立ち直ったり、親が自信を取り戻したりできるケースもあった。
- ・ 青年会議所でも「親学」についての研修を行ったこともある。
- ・ 子育てについて相談できる機関はいろいろあるが、知らない人が多い。



◎ Cグループ：PTA関係者

[現状・課題]

- ・ 地域によってコミュニティの性質に違いがある。
- ・ PTA活動は子どもや学校のためでもあるが、親同士の交流も目的として重視している。
- ・ PTAの活動でコミュニケーションを図ったり、考えたりする機会にしていきたい。
- ・ 親の社会性が低下していて、子どもとの話し方、接し方の問題につながっている。
- ・ 親の学ぶ場としての役割もPTA活動に求められてきている。



3 まとめ（アドバイザーより）

- ・ 「家庭が基本」が大前提であるが、支援の必要性が増してきている。「児童の権利に関する条約」にあるように子どもの利益や権利を守るために、家庭を通じて社会全体で支援していく必要がある。
- ・ 家庭教育力の低下は深刻である。家庭が自立するための親の在り方について学ぶ機会や自立するためのサポートを各機関で実践できるよう働きかけていきたい。
- ・ 「Nobody is perfect」完璧な人間がないように完璧な親もない。ここに集まっている推進委員が地域で、学校で、行政で日々の足もとからの活動で家庭教育推進に努めていっていただきたい。



提案・その他 「家庭教育プロジェクト（県中版）について」等

「コミュニケーション！」 ～『家族で』『地域で』『学校で』～

『我が家のアクション』

できることから取り組もう！

Action1 ひろげよう「あいさつ」の輪

「おはよう」から一日をスタート。

あいさつは家族・社会の一員としての第一歩！

Action2 家族で「話そう」

明るい家庭は、ふだんの家族の会話から！

Action3 「早寝早起き朝ごはん」国民運動

規則正しい生活は、子どもの健やかな成長の

基本の基本！

Action4 親子で「スポーツ」

体力向上だけじゃない。親のメタボ解消、

親子のふれあいを定期的に！

Action5 我が家の「ノーマメディアデー」

親も子もスマホを置く勇気を。

新たな発見がきっとある！

令和元年度 地域でつなげる家庭教育応援事業
家庭教育応援プロジェクト（県中版）
～学校・家庭・地域が連携して家庭教育を推進～

「コミュニケーション！」 ～『家族で』『地域で』『学校で』～

県中教育事務所主催「地域家庭教育推進県中ブロック会議」では、平成23年度より「福島県地域家庭教育推進協議会」（県教委主催）と連携を図りながら、県中地区の家庭教育に関する現状や課題について協議し、家庭の教育力・子育て力の向上のための手立て等について検討して参りました。

これまでの会議から、子どもたちが健やかに成長していくために必要不可欠である基本的な生活習慣を向上させるためには「コミュニケーション」がキーワードではないかと思われました。

「家庭の中でのコミュニケーション」「地域の中でのコミュニケーション」「学校の中でのコミュニケーション」「子ども同士の、大人と子どもの、そして大人同士のコミュニケーション」について振り返り、家庭・地域・学校それぞれができることに取り組んでいくことが子どもたちの健やかな成長につながるのではないかと思います。

子どもたちの未来のために、できることから取り組んでみませんか。

【家族参加でコミュニケーション！】

地域家庭教育県中ブロック会議からの提案

『我が家のアクション』できることから取り組もう！

Action1 ひろげよう「あいさつ」の輪

「おはよう」から一日をスタート。
あいさつは家族・社会の一員としての第一歩！

Action2 家族で「話そう」

明るい家庭は、ふだんの家族の会話から！

Action3 「早寝早起き朝ごはん」国民運動

規則正しい生活は、子どもの健やかな成長の

基本の基本！

Action4 親子で「スポーツ」

体力向上だけじゃない。親のメタボ解消、

親子のふれあいを定期的に！

Action5 我が家の「ノーマメディアデー」

親も子もスマホを置く勇気を。

新たな発見がきっとある！



地域家庭教育推進県中ブロック会議

◎ 今後の取組について

- 今年度も「家庭教育応援プロジェクト（県中版）」「我が家のアクション」を関係各所で家庭教育応援企業に配付して家庭教育の推進を図っていく。
- 7月28日（日）の家庭教育支援者全県研修、12月4日（水）の県中域内家庭教育支援者育成研修会等に可能な方はぜひ参加し研修を積んでいただきたい。
- 「家庭教育応援企業推進事業」について啓発をし、登録を呼びかける。
- 各推進委員それぞれの立場で県中の課題を解決できるよう実践、支援していく。
- 10月18日（金）に情報交換会を行い、その場で中間報告ができるようにする。
- 1月18日（金）に第2回の県中ブロック会議を行い、今年度の各自の取組について発表を行う。
- 今年度2回行う「親子の学び応援講座」にも参観可能な推進委員はぜひ出席していただきたい。
 - ・ 「子どもたちを健康に導く運動プログラムBALLGAME体験会」
7月6日（土）：平田村立小平小学校（平田村立小平小学校PTA）
 - ・ SNS講座「子どもが危ない！スマホ社会」
8月18日（日）：ユラックス熱海（郡山市PTA連合会西ブロック）